

お忙しくても、約 2 分間で読めます

ハートフル・ワード (心からの言葉)

山内公認会計士事務所

TEL 098-868-6895

FAX 098-863-1495

経営者への活きた言葉

チェンジ・リーダーたるための条件は廃棄 (P. F. ドラッカー)

1. 「昨日を捨てることなくして、明日をつくることはできない。しかも昨日を守ることは、難しく、手間がかかる。組織の中でも貴重な資源、特に優れた人材を縛りつけられる」。ドラッカーは、1980 年代半ば以降、少なくとも企業の世界では、変化への抵抗だという問題はなくなったという。内部に変化への抵抗があったのでは、組織そのものが立ち枯れとなる。かくして、変化できなければつぶれるしかないことは、ようやく納得された。
2. 変化が不可避であるのならば、自ら変化しなければならぬ。変化の先頭に立たなければならない。変化をコントロールできるのは、自らがその変化の先頭に立ったときだけである。急激な変化の時代に生き残れるのは、変化の担い手、すなわちチェンジ・リーダーとなる者だけである。
3. 当然、チェンジ・リーダーたるための条件が廃棄である。成果が上がらなくなったものや貢献できなくなったものに投下している資源を引き揚げなければならない。チェンジ・リーダーたるためには、あらゆる製品、サービス、プロセス、市場、流通チャネル、顧客、最終用途を点検する必要がある。しかも、常時点検し、次々に廃棄していかなければならない。(参考:「週刊ダイヤモンド」2009 年 9 月 12 日号)

経営者のための理念・哲学

時代が変わっても良い部分は残していく

西尾 松二郎 (亀の子東子西尾商店社長)

1. 1 世紀以上にわたり、昔と同じ手作業でタワシを作り続ける。日本人おなじみの楕円形のタワシ。100 年ブランドを持つメーカーの多くが、事業を多角化しているが、亀の子東子西尾商店は今でもタワシが大黒柱。最盛期は 1 号単品だけで年間約 500 万個売れていた。昔とほとんど変わらない製法も特徴的で、今でも製造工程の多くは手作業だ。
2. 「情報が乏しかった明治時代に天然素材に目をつけた点や、完成度の高い商品に仕上げたのが創業者の見識です。現在でも厳しい品質検査を行い、合格した商品だけを袋に包み出荷しますが、商品 1 つずつに魂を込める気持ちです」。そう語る西尾松二郎社長の信条は、仏教用語の「衆生の恩」である。「取引先やお客様に感謝し、社員に感謝する。みなさんのおかげで今日まで商売を続けることができたので」。祖父や父の思想を受け継ぎ、経営の背景としている。

(参考:「日経ビジネス」: 2009 年 9 月 14 号)

経営者のための危機管理

製業中心国の経済成長率の低下要因

野口 悠紀雄 (早稲田大学大学院教授)

1. 最近の経済危機を見て、「金融立国モデルが破綻した」と言う人が多い。しかし、製造業立国モデルも同時に破綻しているのである。経済危機を起こしたのが金融立国モデル側にあったことは間違いないが、影響はそこにとどまらず、どちらにも及んだのだ。経済危機は発生以前には、「額に汗して」生産活動に励み、大量の財を生産して金融中心国への輸出にあてた。金融中心国は、自国では生産せず、製造業中心国からの輸入によって豊かな生活を実現した。
2. その際、輸入の対価として自国で生産したものを引き渡したわけではない。輸出国から借り入れて輸入を賄った。つまり、借金によって消費を賄った。その借金があまりに巨大になったため破綻し、金融危機が生じた。その結果、金融中心国の消費が急減し、輸入も急減した。それは、製造業中心国の輸出を急減させ、経済成長率を低下させた。

(参考:「週刊東洋経済」2009 年 9 月 19 日号)

古典に学ぶ

大志を抱け

「そもそも人間が志を立てるといふことは、いわばローソクに火を点ずるようなものです。ローソクは、火を点けられて初めて光を放つものです。同様にまた人間は、その志を立ててその人の真価が現われるのです。志を立てない人間というものは、いかに才能のある人でも、結局は酔生夢死の徒にすぎないのです」

(参考: 森信三「修身教授録抄」: 致知出版社)